

令和5年度 第2回

胎内市地域自立支援協議会

日 時 令和5年12月21日(木)
午後1時30分から3時30分まで

場 所 胎内市産業文化会館 2階会議室

【令和5年度】相談支援事業実施状況

事業所名	障がい者基幹相談支援センター	相談支援専門員数	5名
------	----------------	----------	----

1. 指定相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談方法	訪問	27	67	46	45	47	52						284
	来所	12	12	6	15	9	10						64
	同行	9	30	34	32	27	29						161
	電話	80	103	48	123	108	108						570
	メール	0	3	0	24	23	18						68
	個別支援会議	9	13	3	9	16	15						65
	関係機関	54	53	70	87	69	63						396
	その他	0	0	1	0	1	0						2
	合計	191	281	208	335	300	295	0	0	0	0	0	0
相談内容	サービス利用	58	60	21	55	62	60						316
	障害や病状の理解	6	7	0	4	7	6						30
	健康・医療	40	57	56	54	62	54						323
	不安の解消	47	90	54	102	71	87						451
	保育・教育	1	1	1	1	1	1						6
	家族・人間関係	22	38	35	68	38	55						256
	家計・経済	17	21	40	37	18	25						158
	生活技術	13	18	11	32	34	27						135
	就労	16	11	12	17	7	9						72
	社会参加	2	2	0	4	4	3						15
	権利擁護	1	3	1	0	0	0						5
	その他	21	43	20	9	8	15						116
	合計	244	351	251	383	312	342	0	0	0	0	0	0

障害種別・者	身体障害	11	8	10	13	8	3						53 (14)	
	重症心身障害	2	1	0	1	2	0						6 (1)	
	知的障害	32	71	84	85	63	66						401 (70)	
	精神障害	115	155	70	138	133	151						762 (84)	
	発達障害	12	15	3	13	15	8						66 (11)	
	高次脳機能障害	4	0	1	0	0	3						8 (1)	
	難病	1	3	4	12	8	9						37 (2)	
	その他	1	0	2	4	0	0						7 (3)	
	合計	178	253	174	266	229	240	0	0	0	0	0	0	1,340 (186)
障害種別・児	身体障害	0	0	0	0	0	0						0 (0)	
	重症心身障害	1	6	0	0	3	2						12 (0)	
	知的障害	0	1	1	0	2	0						4 (4)	
	精神障害	0	0	0	0	0	0						0 (0)	
	発達障害	3	5	5	2	5	1						21 (8)	
	高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0						0 (0)	
	難病	1	0	0	0	0	0						1 (0)	
	その他	1	0	0	0	1	0						2 (0)	
合計	6	12	6	2	11	3	0	0	0	0	0	0	40 (12)	
障害種別・計	身体障害	11	8	10	13	8	3	0	0	0	0	0	0	53 (14)
	重症心身障害	3	7	0	1	5	2	0	0	0	0	0	0	18 (1)
	知的障害	32	72	85	85	65	66	0	0	0	0	0	0	405 (74)
	精神障害	115	155	70	138	133	151	0	0	0	0	0	0	762 (84)
	発達障害	15	20	8	15	20	9	0	0	0	0	0	0	87 (19)
	高次脳機能障害	4	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	8 (1)
	難病	2	3	4	12	8	9	0	0	0	0	0	0	38 (2)
	その他	2	0	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	9 (3)
合計	184	265	180	268	240	243	0	0	0	0	0	0	1,380 (198)	

括弧内は実人数

2. 特定相談支援（サービス等利用計画作成者数 227名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	22	16	16	9	10	11							84
モニタリング	31	30	43	33	37	56							230
合計	53	46	59	42	47	67	0	0	0	0	0	0	314

3. 研修・会議等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加回数	14	21	11	22	27	23							118

【令和5年度】相談支援事業実施状況

事業所名	胎内市社会福祉協議会	相談支援専門員数	2名
------	------------	----------	----

1. 指定相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談方法	訪問	21	30	28	23	21	10						133
	来所	2	4	4	2	5	1						18
	同行	0	1	2	4	1	2						10
	電話	49	43	40	45	47	46						270
	メール	6	4	1	0	2	3						16
	個別支援会議	1	0	1	0	2	0						4
	関係機関	17	10	7	12	14	9						69
	その他	1	1	0	2	0	0						4
	合計	97	93	83	88	92	71	0	0	0	0	0	0
相談内容	サービス利用	68	62	56	62	56	57						361
	障害や病状の理解	33	41	34	33	34	23						198
	健康・医療	6	15	19	15	25	10						90
	不安の解消	6	9	5	10	5	6						41
	保育・教育	2	3	3	6	3	2						19
	家族・人間関係	12	15	8	11	9	2						57
	家計・経済	0	0	1	0	0	1						2
	生活技術	4	3	5	6	1	1						20
	就労	6	2	2	5	2	0						17
	社会参加	1	0	1	0	0	1						3
	権利擁護	0	0	2	0	0	0						2
	その他	1	3	1	0	0	0						5
	合計	139	153	137	148	135	103	0	0	0	0	0	0

障害種別・者	身体障害	46	43	43	32	37	33						234 (14)
	重症心身障害	4	6	1	0	3	2						16 (1)
	知的障害	24	20	29	36	30	30						169 (19)
	精神障害	1	3	1	3	5	4						17 (4)
	発達障害	1	1	3	0	1	0						6 (3)
	高次機能障害	0	0	0	0	0	0						0 (0)
	難病	0	0	0	0	0	0						0 (0)
	その他	0	1	0	0	0	0						1 (0)
	合計	76	74	77	71	76	69	0	0	0	0	0	0
障害種別・児	身体障害	0	0	0	0	0	0						0 (0)
	重症心身障害	0	0	0	0	0	0						0 (0)
	知的障害	11	3	5	5	3	2						29 (4)
	精神障害	0	0	0	0	0	0						0 (0)
	発達障害	9	9	5	14	6	10						53 (8)
	高次機能障害	0	0	0	0	0	0						0 (0)
	難病	0	0	0	0	0	0						0 (0)
	その他	0	0	0	0	0	0						0 (0)
合計	20	12	10	19	9	12	0	0	0	0	0	0	82 (12)
障害種別・計	身体障害	46	43	43	32	37	33	0	0	0	0	0	234 (14)
	重症心身障害	4	6	1	0	3	2	0	0	0	0	0	16 (1)
	知的障害	35	23	34	41	33	32	0	0	0	0	0	198 (23)
	精神障害	1	3	1	3	5	4	0	0	0	0	0	17 (4)
	発達障害	10	10	8	14	7	10	0	0	0	0	0	59 (11)
	高次機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0)
	難病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0)
	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (0)
合計	96	86	87	90	85	81	0	0	0	0	0	0	525 (53)

括弧内は実人数

2. 特定相談支援（サービス等利用計画作成者数 48名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	5	2	7	2	0	2							18
モニタリング	5	6	7	7	3	23							51
合計	10	8	14	9	3	25	0	0	0	0	0	0	69

3. 研修・会議等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加回数	3	3	3	5	6	2							22

上半期（令和 5 年 4 月～令和 5 年 9 月）
事業報告

地域活動支援センター基礎的事業
地域活動支援センター機能強化事業

一般社団法人みらいず
地域活動支援センター I 型ごっちゃ

① 基礎的事業

憩いの「場」の提供について、以下の表で4月～9月までの利用人数を示す。

提供月	延べ提供（利用）者数 （昨年度の利用者数）
4月	229名（171名）
5月	222名（158名）
6月	207名（170名）
7月	223名（87名）
8月	224名（125名）
9月	216名（102名）
合計	1,321名（813名）
※憩いの「場」の開放 祝祭日、土曜日、年末年始、お盆期間を除く月曜日～金曜日。日曜開放 第1週・第3週・第4週（5週ある月は閉所）・第5週。使用時間 午前8時30分～午後3時まで	

登録者数 125名（9月30日時点）
前年度同月における登録者数 124名

【登録者の自治体内訳】

胎内市 94名
新発田市 20名
聖籠町 2名
村上市 9名

【障がい種別内訳】

身体障がい 4名 知的障がい 24名
精神障がい 93名
発達障がい 4名

〈憩いの場の考察〉

憩いの場は、自由に時間を個々で過ごす場として2階和室を開放。新型コロナウイルス感染の防止対応は、今年5月の第5類移行後も職員に対しマスクの着用を推奨。手洗い・うがいの基本的対応も継続ながら実施している。

9月30日時点、事業に携わる職員の感染事案は発生してなく、また、利用者の感染情報もない。昨年度で実施した憩いの「場」開放の時間短縮などは行っていない。

「憩いの場」利用者数は新型コロナウイルスの感染縮小が認められた昨年度の3月頃から徐々に増え始め、第5類移行後は感染拡大前と同数程度になっている。利用状況については、1人で静かにくつろいだり他利用者と談笑したりと、思い思いの理由で場所を利用している。また、自身の疾病のことや生活の不安等々。それらを勤務職員に話すことで解決に至らずとも話を聴いてくれたことへの満足を得たりと、「憩いの場」が単純に時間を過ごす場ではない場所となっている。

(1) ユーザーミーティングについて

開催月	延べ参加利用者数
4月	3名
5月	5名
6月	5名
7月	5名
8月	6名
9月	6名
合計	30名

〈ユーザーミーティングの考察〉

昨年度は職員の新型コロナウイルス感染による閉所であったり、感染防止のため集団を避け

る観点からユーザミーティング開催を見送ったり等。感染対応に苦慮したが本年度、新型コロナウイルスに勤務職員及び利用者が感染する事案が発生していないことから4月からは通常どおり毎月第1週の日曜日にユーザミーティングを開催。開催時は勤務職員が中心となり翌月で予定するサークル活動や月間行事の案内。また参加利用者からサークル活動に対する希望・意見を募り、後日で行う職員ミーティングで希望・意見の検討を行い、活動に反映させている。その意見・希望は新型コロナウイルス感染が第5類移行したことで特に、市外までの余暇外出が多くなりその理由とし、新型コロナウイルス感染拡大で我慢してきたから。というものであった。

(2) 月の行事活動について

提供月	提供した月行事名	参加利用者数
4月	花見&新規事業所を見学しよう	7名
5月	バーベキューを楽しもう	12名
6月	市外の史跡見学と食事会	8名
7月	食事会	6名
8月	食事会	6名
9月	見学&食事会	7名

〈行事活動の考察〉

先述したように、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、できる限り希望・意見を踏まえながら活動提供してきた。参加利用者は新型コロナウイルスの感染が第5類に移行された頃から参加者数が増加してきた。また特徴としてテーマが「食」であると参加者数が増える傾向にあり、その理由として普段の暮らしで大勢と食事する機会が少ないこと。車がなくて移動手段が公共交通機関に限られていることで、市外に出掛けて食事する機会が少ない等が挙げられる。

活動の参加者数には本年5月に開設した弊法人の生活訓練施設らいと（新発田市）の利用者も9月から若干名含まれており、地域活動支援センターの基礎的事業の1つが利用されている。

(3) サークル活動について

活動提供月	サークル活動名	参加利用者延人数
4月	軽作業、芸術くらぶ、ぱくぱく会、おやつ作り、健康くらぶ	63名
5月	軽作業、芸術くらぶ、おやつ作り、ドライブ、ぱくぱく会	68名
6月	軽作業、芸術くらぶ、ぱくぱく会、おやつ作り、健康くらぶ、ドライブ	49名
7月	軽作業、書道くらぶ、ドライブ、おやつ作り、健康くらぶ	66名
8月	山車作り、芸術くらぶ、ぱくぱく会、軽作業、健康くらぶ、茶話会、アート作品作り	57名
9月	中条民謡流し練習、芸術くらぶ、ぱくぱく会、おやつ作り、健康くらぶ、茶話会	68名
延べ人数合計		371名

〈サークル活動の考察〉

4月から9月までのサークル活動は新型コロナウイルス感染防止の基本的対応を行いながら、憩いの場である事務所2階で上記の内容を提供している。意図的に集団の密を作えないよう利用者の関心が高い食をテーマにした活動では、事前に参加募集のポスターで参加者数の制限を設ける感染対応を昨年度から継続して行っている。そのような中で上半期終了の9月に向かって下半期で予定する第11回胎内市共生アート展に向けた作品づくりの活動を増やし、大型の個人作品及び集団作品（コラージュ）の仕上げも現在行っている。

昨年度から導入した軽作業も継続して受託しており、作業中心にならないことを意識した頻度と時間で作業提供を継続している。現在、参加利用者は半年ほどの経過で固定化されてきており、得られる工賃は障がい年金のみの生活に少しではあるが足しとはなっている。参加利用者の声は自分のペースで作業に入ることができ、体調に応じて作業を止めて回復したら始められるという柔軟性が良いと、特に精神障がい者の利用者にその柔軟性が受け入れられている。またやることあるという役割のような感覚も持ち始め、規則的な生活を支えるための支援にも繋がっている。

定期的な開催では他、ぱくぱく会という活動があるが、参加利用者の全員が一人暮らしであり、調理に利用者が携わり食事づくりを学ぶことに加え、孤食の機会を減らす場ともなっている。

②機能強化事業

（1）普及啓発活動

- ・広報誌の発行

広く活動内容を支援者も含め知ってもらうことを主目的に毎月末、関係機関及び個人単位で利用登録利用者に対してメール、手配り、郵送等の方法で届けている。

- ・ホームページの活動

弊法人の公式ホームページに毎月に掲載している。このホームページをみて市外の支援機関や障がいを持つ方からの利用問い合わせがある。（実際の利用登録には至らず）

（2）ボランティア育成について

昨年度から引き続きフードバンク「たいない」の食品保管庫とし事務所の1部屋及び倉庫を開放。フードバンク「たいない」の市民ボランティアの方との交流は昨年度から継続しており、不定期ではあるものの、利用者とともに頂いた食材の運搬も行っている。食品保管庫としての役目は必然と市民と利用者が交わる機会が生まれ、障がいの理解（支援、仕事への理解）を市民に得る1つの切っ掛けともなっている。「育成」という言葉に当てはまらまいと思うが、この状態はボランティアとして活動する前段にある「理解の育成」と考えることができる。

（3）地域交流について

昨年度、新型コロナウイルス感染拡大で中止となった地域行事の「中条民謡流し」。本年度は開催の運びとなったことを受け、利用者と勤務職員。弊法人の職員も含め3年振りに参加した。終了後、参加利用者の声は良い疲れだと、充実した一時の声が聞かれた。また、地域活動である環境美化活動の「たいないきれい隊」は6月に第1回目があり参加。参加した市民とともに

1 時間程度ではあるが、市内海岸の清掃（ゴミ拾い）を勤務職員 2 名が同伴して行った。

（4） 予定する「第 11 回 胎内市^{ともい}共生きアート展」について

本年度で 11 年目となるアート展はその回数から、市内及び市外の関係機関等に浸透しており、開催告知をする前から「いつ開催なのか」「作品を出しても良いか」といった問い合わせがあった。このアート展は展名どおり作品展示を障がい者（児）を主としながらも、市内の介護保険施設の入居利用者の作品のみならず、働くスタッフの作品も展示に加え、本年度も作品のバリアフリー化を行う。

また、近年では展示作品を購入することはできないか。といった問いが来場者からあったため、昨年のアート展で展示作品の提供者と購入希望者を繋ぎ、購入相談の間を取り持ったこと本年度も試行として継続する考えで、開催に向けた準備を進めている。

【その他】

地域活動支援センター職員研修参加について

① 7 月 21 日 イクネス新発田にて

目的：人間の多様性を深める。

研修テーマ「LGBT」 参加職員数 3 名

以 上

高齢者・障がい者総合支援センター おくやまのしょう

地域活動支援センター事業報告（令和5年度上半期）

1 基礎的事業

登録者数 16名（知的14名、精神1名、身体1名）

(1) 余暇活動

新型コロナウイルスの感染防止のため実施なし

(2) 生産的活動

主として野菜の栽培及び収穫物を加工し、JAの直売所へ出荷したほか、個人にも販売。今夏の猛暑のため、枝豆・さつまいもの生育に大きな影響があり、秋冬野菜の作付にも影響したことから、今後は作物によって場所を調整する必要がある。

鶏卵については、鳥インフルエンザの影響で卵が品薄の間の販売が好調で、この間に消費者に味を理解していただけたと思われ、売り上げも順調に伸びている。

高齢農家の農作業の手伝い及びポストイング業務の受託

胎内市「緑のカーテン事業」で、ゴウヤ苗の育苗を受注(3,400本余り)し、こぼと作業所の協力も得て生産した。ただ、受注本数は年々減少している。

(3) 生活指導

支援する家族等がない方については、買い物・通院等の指導を実施している。

(4) 有償ボランティア活動

一人暮らし高齢者宅の廃棄物整理・ゴミ出し、草取り、お墓の清掃を手伝いながら、声掛けなどを実施

廃棄物整理については、終活・遺品整理などもある。

シルバー人材センターの登録者が減少してきていることから、その分を補完する形になってきているが、当センターでの対応能力も限界に近づいている。

(5) その他

- ・地域貢献活動として、西条町地内で約100m側溝清掃を実施
- ・新発田市「ギャラリー菜」様のご厚意により敷地内でどんぐり拾いをさせていただき、樽が橋遊園のどんぐりポストに寄付した。(約30kg)

令和5年度 専門部会の活動について（4月～10月）

部会名：相談支援部会

1 活動テーマ

- ・個別ケースからの地域課題を抽出し、俯瞰した課題解決を考えることができる（相談支援スキルアップ）。
- ・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築（にも包括）」からみた地域包括的支援体制整備について考える。
- ・障害福祉計画策定のための情報収集（ニーズリサーチ）などに努める。

2 活動内容

<4月20日>

会 場 胎内市役所301会議室

参加者 基幹：中村・加藤、社協：今井・松本、deed：渡辺、福祉介護課：錦織・小川

- ・今年度事業活動計画の確認と共有
- ・各相談支援事業所の現況報告
- ・「相談支援に携わる者として今思うこと」を語る

<5月18日>

会 場 胎内市役所301会議室

参加者 基幹：中村・加藤、社協：今井・松本、deed：川端、福祉介護課：錦織・小川

- ・各相談支援事業所の現状報告
- ・個別ケースからみる地域課題「ひきこもり支援・医療的ケア児等支援について」
- ・にも包括ケアシステム構築にあたっての進め方について意見交換

<6月15日>

会 場 胎内市役所301会議室

参加者 基幹：中村、社協：今井・松本、deed：渡辺・小池、福祉介護課：錦織・小川
新潟青陵大学実習生1名

- ・各相談支援事業所の現状報告
- ・個別ケースからみる地域課題「自閉症スペクトラムケースの親亡き後支援について」
- ・障害福祉計画策定に係る進捗状況の共有（前回H29年策定時活用した調査票を共有）

<6月20日> 「(仮) にも包括を考える会」ワーキング

会 場 黒川病院デイケア棟

参加者 基幹：中村、黒川病院：脇川・高橋

- ・にも包括ケアシステム構築にあたっての進め方について意見交換
- ・「胎内市合同情報共有会議」を復活させ、にも包括を検討する場として活用する方向を共有

<7月4日> 「(仮) にも包括を考える会」ワーキング

会 場 黒川病院デイケア棟

参加者 基幹：中村、黒川病院：脇川・高橋

- ・にも包括ケアシステム構築にあたっての進め方について意見交換
- ・その目的、内容、参集機関の選定

< 7月20日 >

会 場 胎内市役所301会議室

参加者 基幹：中村、社協：今井・松本、deed：西村・川端、福祉介護課：錦織・小川

- ・各相談支援事業所の現状報告
- ・個別ケースからみる地域課題「発達障害（普通高校3年生）の進路への相談支援事業所のかかり方について」
- ・障害福祉計画策定に係る進捗状況の共有
- ・にも包括ケアシステム構築にあたっての進め方について意見交換

< 8月8日 > 「(仮) にも包括を考える会」ワーキング

会 場 黒川病院デイケア棟

参加者 基幹：中村、黒川病院：脇川・高橋

- ・にも包括ケアシステム構築にあたっての進め方について意見交換
- ・目的、参集機関の確認、内容吟味、今後のスケジュール（来年度スタート）について共有

< 8月17日 >

会 場 胎内市役所301会議室

参加者 基幹：中村・加藤、社協：今井・松本、福祉介護課：錦織・小川

- ・各相談支援事業所の現状報告
- ・個別ケースからみる地域課題「生活困窮者の親亡き後支援について」
- ・障害福祉計画策定に係る進捗状況の共有
- ・にも包括ケアシステム構築にあたっての進め方について意見交換

< 9月5日 > 「(仮) にも包括を考える会」ワーキング

会 場 黒川病院デイケア棟

参加者 基幹：中村、黒川病院：花田・脇川・高橋

- ・にも包括ケアシステム構築にあたっての進め方について意見交換
- ・「顔の見える関係づくり」の仕掛け方について
- ・最終目標は「顔の見える地域づくり」「人材育成」にあることを共有。

< 10月19日 >

会 場 胎内市役所301会議室

参加者 基幹：中村・加藤、社協：今井・松本、deed：小池・川端、福祉介護課：錦織・小川

- ・各相談支援事業所の現状報告
- ・個別ケースからみる地域課題「統合失調症・発達障害ケースの障害受容と地域移行について」
- ・障害福祉計画策定に係る進捗状況の共有
- ・にも包括ケアシステム構築にあたっての進め方について意見交換

3 課題、検討事項

- ・多種多様なニーズ（アンメットニーズを含む）に対応できる地域包括的ケアシステムの構築についての必要性を検討。
- ・ニーズと合わせて、福祉サービス利用を希望する障がい者・児が増加していることに伴う、コーディネーターとしての相談支援専門員の人材育成ならびに不足する人材確保について検討。

部会名：就労支援部会

1 活動テーマ

- ・胎内市の事業所のガイドブックを作成して公開する
- ・胎内市の就職課題について
- ・移動支援について

2 活動内容

<10月16日>

会 場 胎内市役所501会議室

参加者 虹の家：平野、じょぶ倶楽部：板垣、こぼと作業所：佐藤、ハートワーク高浜：鈴木、
カレイド：羽田・泉田、アシスト：齋藤、基幹相談：加藤、福祉介護課：錦織

- ・胎内市版の就労支援事業所紹介ガイドブックを作成し、市ホームページに掲載する。

3 課題、検討事項

- ・胎内市の雇用課題について（村上市・新発田市より就職先が少ない）
- ・移動支援について（のれんす号とタクシー券だけでは移動が困難）
- ・胎内市企業への雇用アンケートの実施（送迎、在宅雇用についても伺ってみる）

部会名：子ども部会

1 活動テーマ

- ・令和6年度ペアレントトレーニング（ペアトレ）の実施に向けた準備
- ・医療的ケア児に関する支援

2 活動内容

<10月11日>

会 場 胎内市役所501会議室

参加者 健康づくり課子育て応援係：諸橋・菅原、健康づくり課発達相談係：斎藤・高橋・佐久間、福祉介護課：錦織・小川、胎内市社会福祉協議会：今井

- ・胎内市のペアトレ実施に向けて検討する
- ・実施に向けて他市の動向等、情報の共有
- ・委託先との打ち合わせのための詳細を確認する
- ・医療的ケア児の状況を把握、環境整備に向けて情報共有する

<10月20日>

会 場 こども発達支援所はる（村上市）

参加者 はる：桜井・一ノ瀬、健康づくり課子育て応援係：諸橋、健康づくり課発達相談係：斎藤、福祉介護課：錦織、胎内市社会福祉協議会：今井

- ・ペアトレについて委託先（予定）と協議
- ・実施に向け日程や運営など詳細の確認

3 課題、検討事項

- ・市内の医療的ケア児の環境整備に向けた、コアメンバーの見直し
- ・ペアトレを新たな取り組みとして検討していく